区政報告レポート　NO.4

都民ファーストの会

足立区議会議員
梅田在住3児のママ

佐藤あい



足立区議会
第4回定例会が開かれました

年に4回開かれる定例会。
佐藤あいは、臨時会を除くと選挙後の第2回定例会から出席しており、足立区議会では12月1日から12月20日まで令和5年第4回定例会が開かれました。

都民ファーストの会足立区議団
一般質問

若年者支援について、こどもまんなか社会実現にむけた区の政策について、誰一人取り残さないアウトリーチ型子育て支援施策について、学童保育室の改善について、区内産業支援について、ふるさと納税の活用と地域活性化について、足立区のデジタル化促進について、地域包括支援センター（ホウカツ）について、合計8つのテーマにわたる質問をおこないました。

▶足立区では令和5年度を若年者支援元年と位置付け、足立区独自の様々な支援を行ってきた。今後、限りある財源の中でどのような優先順位で若年者支援の新規事業を検討し実行する覚悟があるのか？
回答：教育が最重要。例えば、高校中退の子への支援を行ったり、足立はばたき塾（※1）出身者が大学へ進学し、その後足立区職員へという事例が作れたらと考えている。（区長答弁概要）

▶年間約4000人近い新生児が誕生する足立区では他自治体が実施するアウトリーチ型（※2）支援、定期訪問型支援を行う場合、定期訪問しなければならない件数も多く、運用が出来るNPOや団体は限られているため、足立区ならではの子育て施策におけるポピュレーションアプローチ（※3）を行うモデルを構築する必要があると考えるがどうか？
回答：令和6年度に新部署を作り、足立区における子育て施策について設計を調査検討していく。（所管答弁概要）

▶協働・協創パートナー基金（※4）によるボランティア・NPO等の支援について、さらに多くの団体が制度を活用できるよう、各団体への周知や助成の条件の緩和等必要ではないか？
回答：足立区への団体登録をしていないと制度活用が出来ないため、まずは団体登録を促す、基金を活用した助成制度の申請を団体に促すなど周知強化、実際の団体への調査の上で条件緩和の検討をする。（所管答弁概要）

愛であふれる足立区に！

気になっていること
改善してほしいことなど
お気軽にお声を
お寄せください。

satoai.adachi@gmail.com
佐藤あい
事務所　070-9098-7595



足立はばたき塾ってなに？（※1）

足立はばたき塾は、成績上位で学習意欲も高いが、家庭の事情などにより塾等の学習機会の少ない生徒を中心として、民間教育事業者を活用した指導力の高い講師による学習機会を提供するものです。
塾生たちは、民間学習塾でもトップクラスの講師の下、他校のライバルたちと切磋琢磨し、志望校の受験に挑みます。
対象者は、中学3年生で、家庭の事情などにより塾等の学習機会が少ないが、成績上位で学習意欲が高く、将来の夢の実現に向けて難関高校等への進学を目指す生徒。

アウトリーチ型支援ってなに？（※2）

アウトリーチとは、「手を伸ばすこと」を意味する英語から派生した言葉。「訪問支援」とも言われ、子育て支援においては、地域の児童館や子育てサロンなどの施設や家庭に訪問を行い支援を行うことも。明石市のおむつ宅配事業などが有名で、明石市ではおむつ宅配を通じて母子の健康状態や虐待の有無をチェックする見守り活動と組み合わせることで育児支援につなげている。

ポピュレーションアプローチってなに？（※3）

リスクの有無にかかわらず、集団に対して同一の環境整備などを支援・指導すること。
現在子育て支援においては、ハイリスクであると判断された場合や、声を上げた家庭への訪問支援等を実施しているが、すべての子育て家庭について、育児に伴う不安や負担を軽減し、育児不安を全体的に減らしていけるような支援策を検討。

協働・協創パートナー基金ってなに？（※4）

足立区の地域活動を支援する基金です。地域の福祉や教育、文化活動などを行うNPOやボランティアを応援する目的で、区の財源と寄附金が積み立てられています。寄附と助成の循環により、住民同士が支えあい、区内の社会貢献活動の充実とより豊かな地域を一緒に目指すしくみで、あだち虹色寄附制度（ふるさと納税）のひとつです。

文教委員会の視察報告






富山県富山市の『とやまこどもプラザ』
富山駅の目の前という好立地にあり、こども図書館・子育て支援センターが併設され
都内の商業施設内の有料キッズスペースに負けない
ボーネルンドの遊具が設置されている子ども広場と図書館スペースがつながっていて
気軽に行き来できる造り。
これが、県外の方も全て無料とは驚きです。
図書館も、本を自然に手に取りたくなるデザインや読み聞かせスペースなどの様々なブースがあり、とても考えられていると感じました。
併設されている、学生や大人も利用しやすい『とやま駅南図書館』は21時まで開館しており、本に親しみやすい環境が整えられていました。
足立区においては、梅田八丁目に図書館と子育てサロンとNPO支援センターの複合施設建設が予定されています。
富山市も含め、他自治体の事例を参考に足立区にあった施設検討を進めていきたいです。

福井県坂井市立丸岡南中学校
福井県初の教科センター方式を採用した学力向上に向けた取り組み。
まず、学校の造りが「行き止まりや死角がほとんどない」設計。学びやすい環境や他学年との活動から自然とリーダーシップを取れるような取り組み。
青空教室（外の教室）もあったり、自分のクラス専用の教室はなく、各教科の専用教室に移動をして授業を受け、ホームルームなどは教科専用教室をそれぞれ使います。通常の廊下より広くスペースをとってあり、各教科の専用教室前の廊下部分に各教科のメディアセンターというスペースがあり、教材などが常に置かれていて、自由にもらうことが出来るプリントが用意されているので、自ら学びを深めることができます。メディアセンターも各教科の教員の方がそれぞれに生徒が興味をひくような展示をされているのも印象的でした。
教科センター方式は、生徒が授業ごとに専用の教室へ移動して学ぶ方式のため、切り替えがしやすいという利点があります。 各教科の教室に教材や資料、設備が整っているので、教科の魅力がより感じられて、「面白そう！」「もっと学びたい！」という気持ちが高まるとも言われています。
しかし、同じ坂井市の通常の設計の学校では教室移動が大変で教科センター方式はうまくいかなかったそうですので、今後も様々な事例を研究する必要がありそうですが、子どもたちの主体的に考える力を養うことや、個別に合った多様な学びの推進も足立区で進めていきたいです。

滋賀県大津市のいじめ対策
平成23年10月に大津市の中学生がいじめを苦にして自死をしてしまった事をきっかけに、調査や学校対応などの考察をするいじめに関する第三者委員会が設置されました。平成25年に施行された国の「いじめ防止対策推進法」は大津市の条例が元になっているそうです。
・いじめ未然防止対策として、小中学校への出前授業を実施したり「いじめ防止市民会議」の実施など
・いじめ早期発見のため、いじめ相談電話「おおつっこ　ほっとダイヤル」や21時～翌9時の深夜対応の「子どもナイトだいやる」の設置、切手を貼らずに手紙をポストに投函できる「おおつっこ手紙相談」の用紙もかねた「おおつっこ相談チーム」のプリントを年に2～3回ほど学校で配布、いじめ対策担当教員の配置など、様々な取り組みを進めています。
足立区のいじめの認知件数は令和2年から令和4年に毎年5%以上も増え続け、SNSなどで悪質化し表向きには見えにくくなっています。第三回定例会の佐藤あいの代表質問でもいじめ対策について質問をしておりますが、足立区においてもいじめ対策については更に力を入れて進めていきたいです。

佐藤あいは
常任委員会は『文教委員会』
特別委員会は『子ども・子育て支援対策調査特別委員会』に所属。



常任委員会と特別委員会ってなに？

議会が区の事務に関する調査や、議案や請願・陳情などの審査を行うため常に設置されている委員会のことをいい、条例に基づいて置くことができます。
足立区では、現在６つの常任委員会が置かれています。（総務・区民・産業環境・厚生・建設・文教）
文教委員会では、教育委員会に関する事項を扱います。
一方特別委員会は、必要がある場合や特定のことの審査のために設置される委員会のことをいいます。条例に基づいて置くことができます。
現在４つの特別委員会が置かれています。（総合交通対策調査・子ども・子育て支援対策調査・災害・オウム対策調査・エリアデザイン調査）
また、令和5年第3回定例会において、令和4年度の決算審査のため「決算特別委員会」が設置され、「一般会計決算」「国民健康保険特別会計決算」「介護保険特別会計決算」「後期高齢者医療特別会計決算」について審査されました。
子ども・子育て支援対策調査特別委員会では
1. 保育ニーズに応じたサービスの確保に関すること
2. 幼児教育・保育の質の向上に関すること
3. 少子化対策に関すること
4. 子どもの貧困対策に関すること
5. 妊産婦支援に関すること

など、子ども・子育て支援対策に関する調査研究が担当です。



お声をお寄せください！



公式LINE　Facebook

Instagram　X（旧Twitter）

佐藤あいプロフィール

2023年5月、長男が生後6か月の時に足立区議会議員選挙にて約4910票もの信託をいただき初当選。
1984年5月26日生まれの39歳。ふたご座・AB型。
足立区に住んで約12年。現在9歳、6歳、1歳のこどもを育てるワーキングマザー。
足立区梅田在住、義母と同居中で実母も足立区在住。
民間企業・医療機関勤務を経て、足立区出身の夫と2人で区内で不動産会社を経営。
宅地建物取引士、空き家相談士などを保有。
子ども支援団体理事、シニア支援団体に所属し、地域活動を継続中。
不登校支援施策やシルバーケア施策に力を入れている。

発行元
都民ファーストの会
足立区議団副幹事長　佐藤あい